

こっこめ通信 04 2018

「脚光を浴びて」号



八丈島ではアカッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

嵐とともに始まった3月。上旬は定期船や飛行機の欠航も多く、定期船は6日から9日まで4日連続の欠航となっていました。月末は天気安定し、離島・旅立ちの飛行機は順調に就航しています。また、3月25日から4月8日まで開催されているフリージアまつり。今年は満開で色とりどりのフリージアがとても綺麗ですよ！

さて、今回は「植物公園からホエールウォッチング」「講演会『発光生物の謎～生きものは何故光るのか～』」「イソコモチクモヒトデも光った！」についてのお話です。

植物公園からホエールウォッチング

植物公園内にある徳里山の展望台は標高が90mあり、島の西側になる八重根方面の海や八丈小島が見渡せます（写真右下）。

3月3日、ガイドウォークの下見で徳里山展望台から海を見ていると八重根漁港出口付近にザトウクジラの調査船が見えました。船があまり動いていなかったの近くでザトウクジラがいることは間違いありません！すると、ザトウクジラのブローを確認。すぐに背中を見せ、テール（尾びれ）を上げて潜ってしまいました。周辺を見ていると南側でも二つのブローを確認。さらには八重根港の西側でも二つの背中が見えました。この時は3群5頭のザトウクジラが確認できました。

いつも見られる訳ではないのですが、高台のため、海が静かであれば霧状のブローが確認しやすいです。公園内での利用であれば、ビジターセンターにて双眼鏡の貸し出しもしています。4月になるとクジラの数が減ってしまいますが、また来年も来てくれるはず。植物公園でホエールウォッチングはいかがですか？

ザトウクジラのブロー（潮吹き）



真上に霧状のブロー



「アカッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

講演会「発光生物の謎～生きものは何故光るのか～」

3月3日、長年八丈島で発光生物の研究をされている中部大学応用生物学部の大場裕一博士を講師に迎え、「発光生物の謎～生きものは何故光るのか～」を開催しました。光るキノコ観察会を実施していることもあり、島内には発光生物に関心のある方が多く大盛況の講演会でした。

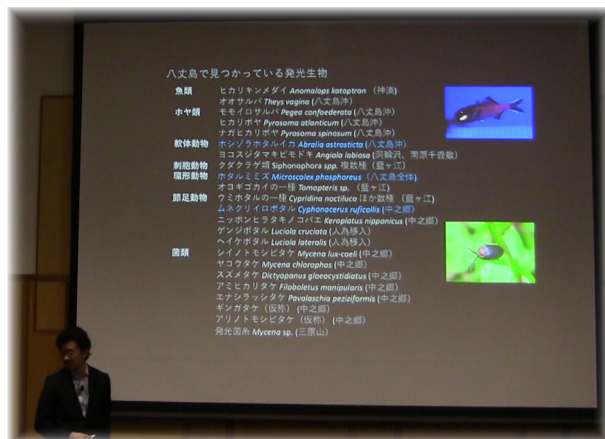
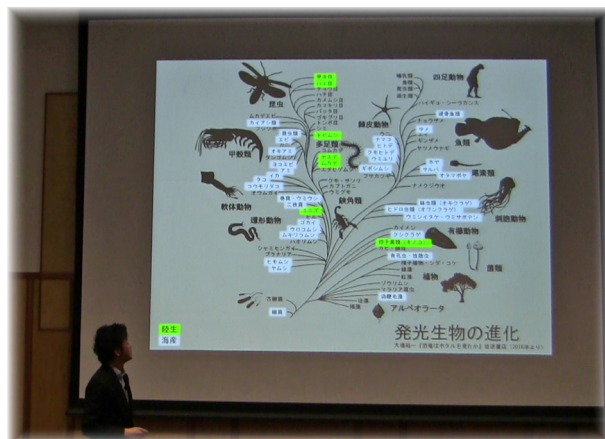
まずは発光ではない『反射』や『蛍光』の話から始まりました。光るキノコと間違われることが多い『ヒカリゴケ』は再帰反射の例としてあげられていました。また、発光生物の進化（写真右上）では陸生よりも海産に発光生物が多くいること、は虫類・両生類・鳥類・哺乳類や鯨類などからは見つからないこと、昆虫の中でも一部の種からしか見つからないことなどの話もありました。

八丈島には発光生物が多く、講演の中では23種（写真右中）が紹介されました。講演会前に中之郷運動場で採集したという『ホタルミミズ』の発光を目の前で見た時には、歓声が上がっていましたね（写真右下）。

八丈島が発光生物で知られるようになったのは、発光生物の第一人者である羽根田弥太博士が度々来島し、著書「発光生物」に島で見つけた発光生物を書き記したためです。当時発見され、その後50年間見つかっていなかったニッポンヒラタキノコバエが数年前に再発見されましたが、どうしても見つからなかったのは『光らないけどよく似たキノコバエの種類がいたため』だったそうです。

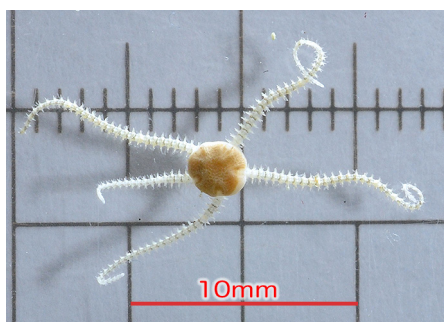
また、大場博士はロシアの研究者達と光るキノコのヤコウタケの発光物質「ヒスピジン」を特定し、何故長時間光り続けるのかを解明しています。しかし結局のところ、光る原理は解明され始めてきたが「何故光るのか未だに分からない！」と講演会の演題への答えを出していました。

島ではNPO 八丈島観光レクリエーション研究会の主催するサイエンスクラブで子供たちが様々な実験をしています。近い将来その答えが分かる日がくるかもしれませんね。



イソコモチクモヒトデも光った！

イソコモチクモヒトデ (*Amphipholis squamata*) は潮間帯などの浅い海に棲み、脚を伸ばしても20mmほどのとても小さなクモヒトデです（写真下左）。発光するクモヒトデなのですが、今回の講演会のリストには入っていませんので撮影に挑戦し、発光を確認しました！実はこのクモヒトデ、ビジターの展示水槽に入ってます。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 3 月 11 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 30 年第 3 回）調査者：沖山、青木、沖野、茂手木、金田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			6	タイミンタチバナ	花
1	アシタバ	実	7	ヒサカキ	花
2	アツバスミレ	花	8	モクレイシ	花
3	イワニガナ	花	9	モチノキ	花
4	ウスベニニガナ	花	10	ヤツデ	実
5	ウラシマソウ	花	11	ヤマモモ	花
6	オオシマカンスゲ	実			
7	オオバコ	蕾	シダ植物		
8	オニタビラコ	花	1	イシカグマ	
9	オランダミミナグサ	花	2	ウチワゴケ	
10	カタバミ	花	3	オオイタチシダ	
11	キュウリグサ	花	4	オオタニワタリ	新葉が見え始め
12	キランソウ	花	5	オニヤブソテツ	
13	コナスビ	花	6	タチクラマゴケ	新葉が伸び始め
14	シチトウスミレ	花	7	タチシノブ	
15	シマテンナンショウ	実	8	タマシダ	
16	スズメノカタビラ	花	9	ナチシダ	
17	スズメノヤリ	花	10	ナチシケシダ	
18	タチイヌノフグリ	花	11	ノキシノブ	
19	タネツケバナ	花と実	12	ハチジョウカナワラビ	
20	チチコグサ	蕾	13	ハチジョウシダ	
21	ツメクサ	花	14	ハチジョウベニシダ	
22	トキワハゼ	花	15	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
23	ノジスミレの仲間	花、盛り	16	ホシダ	
24	ノミノフスマ	花	17	マツバラン	
25	ハナイバナ	花	18	マメヅタ	胞子葉が目立つ
26	フウトウカズラ	蕾と実			
			今回はシダ植物 18 種を含む、55 種の植物を観察しました。ルリシジミが飛び始め、ウグイスも鳴き始めました。また、常緑樹の梢に止まるカラスバトも観察することができました。		
木本					
1	アオキ	花			
2	イタビカズラ	実			
3	イヌビワ	実			
4	オオアリドオシ	実			
5	オオバヤシャブシ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海に棲む「マツカサウオ」にスポットを当ててみたいと思います。



マツカサウオ *Monocentris japonica*

キンメダイ目マツカサウオ科。日本では南日本に分布しています。八丈島では 25m 以深で稀に見られます。

体は黄色く、硬い鱗で覆われています。左右の下顎中央に楕円形の発光器には発光バクテリアが共生し、弱い光をだします。

写真は幼魚で、水温が低くなった時に浅い海で見られました。

2018 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク	2	3	4	清明 5	6	7 ガイドウォーク
05:36 18:00 11:43 23:55	05:58 18:39 12:14	06:20 19:18 00:25 12:45	06:42 19:57 00:54 13:17	07:05 20:40 01:22 13:51	07:29 21:33 01:51 14:30	07:54 22:52 02:23 15:17
8 ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」	9	10	11	12	13	14 ガイドウォーク
08:22 16:23 03:08	00:58 09:05 05:04 17:59	02:25 11:59 08:10 19:30	03:04 13:56 08:59 20:32	03:32 14:56 09:28 21:18	03:57 15:42 09:54 21:56	04:22 16:24 10:22 22:31
15 ガイドウォーク	16	17	18	19	穀雨 20	21 ガイドウォーク
04:46 17:04 10:51 23:05	05:12 17:45 11:22 23:39	05:37 18:28 11:55	06:03 19:12 00:13 12:31	06:30 20:00 00:47 13:10	06:58 20:56 01:22 13:53	07:29 22:05 02:01 14:43
22 ガイドウォーク	23	24	25	26	27	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」 「体験八丈太鼓」
08:05 23:39 02:51 15:47	09:02 17:10 04:23	01:17 11:26 07:04 18:42	02:18 13:33 08:25 19:58	02:58 14:49 09:08 20:56	03:30 15:45 09:43 21:41	03:58 16:32 10:16 22:21
29 ガイドウォーク 「八丈富士ハイキング」 「体験八丈太鼓」	30 ガイドウォーク 「体験八丈太鼓」					
04:24 17:15 10:47 22:56	04:49 17:54 11:17 23:29					

この色の日は
ガイドウォークや
特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！

4/8（13：30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八丈学講座。島ならではの鳥のさえずりを聞き分けられるようになる！

4/28（13：30～ 約1時間半）
中学生以上 和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

GW特別行事

「八丈富士ハイキング」

みどりの日恒例の八丈富士ハイキング！天気が良ければお鉢巡りもします！

4/29（9：30～ 約6時間） 八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行
小学生以上（小学生は保護者同伴） 参加費：50円 定員：20名

GW特別行事

「体験八丈太鼓」

両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散できますよ！

4/28、4/29、4/30（13：30～ 随時）
だれでも ビジターセンター入口にて 参加費：無料 雨天中止

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち

11：00～ おじゃりやれ 八丈島

14：00～ おじゃりやれ 八丈島

15：00～ おじゃりやれ 八丈島

16：00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.4.1 第203号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

『ヒメエダウミウシ』『エダウミウシ』『ニンジンヒカリウミウシ』『ベッコウヒカリウミウシ』光る生きものリストに載っていない八丈島で記録されている発光ウミウシです。前のページで紹介した『マツカサウオ』と『イソコモチクモヒトデ』を入れて29種になりました。（高）